令和８年11月
沖縄気象台

防災一口メモ

台風が遠くても「強風・高波」にご注意！

■台風が近づいていなくても、強風や高波になることがあります

台風が沖縄から遠く離れていても、高気圧と台風の位置関係によっては、沖縄付近の気圧の差が大きくなることがあります。この気圧差によって強い風が吹き、海では高波などが発生するおそれがあります。

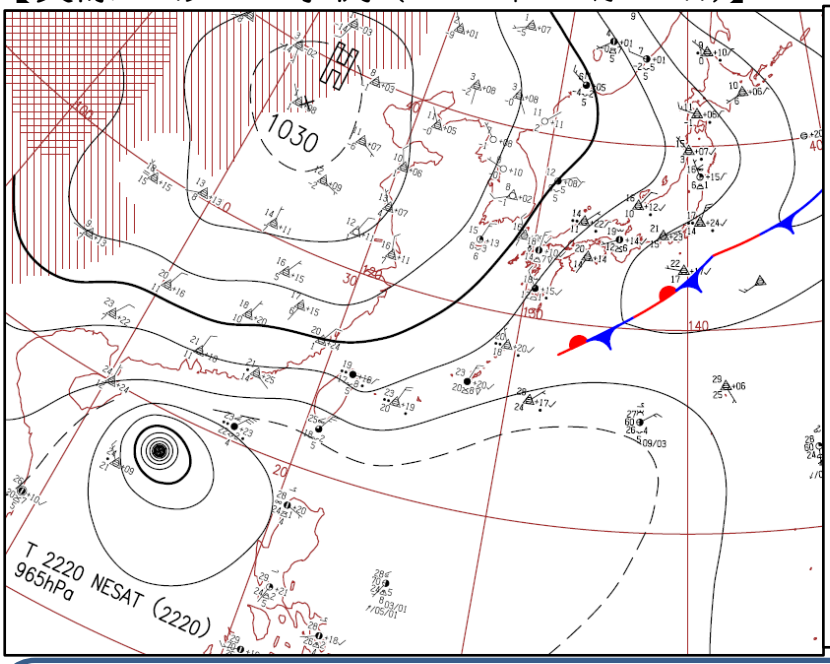
■こんな被害に注意してください

海岸付近：高波やうねりによる事故のおそれがあります。
交通機関：フェリーや飛行機の欠航・遅延が起こることがあります。
市 街 地：飛来物や落下物による事故、建物の一部損壊などのおそれがあります。

■身を守るためのポイント

台風が遠くにあっても、外出前や海に出る前には**最新の気象情報や気象警報・注意報**を必ず確認しましょう。強風や高波の情報が出ていたら、早めの備えや安全の確保を心がけましょう。

【実際にあった事例（2022年10月18日）】



台風第20号は沖縄のはるか南（南シナ海方面）を西へ進んでいました。一方、北側にある大陸の高気圧との間で気圧の差が急に大きくなりました。
そのため、台風本体から遠く離れた沖縄地方でも**北東の強い風**が吹き、**大しけ（海が大荒れの状態）となるなど、荒れた天気**が続きました。

防災気象情報については沖縄気象台ホームページまで
https://www.data.jma.go.jp/okinawa/



お問い合わせ先：沖縄気象台地域防災推進課 Tel：098-917-7921
（沖縄気象台防災一口メモ：https://www.data.jma.go.jp/okinawa/know/memo/sougou.html）